



RIKKYO SECOND STAGE

Contents

- P1 シルバー民主主義と18歳選挙権
- P2～3 清里本科合同ゼミ合宿・ゼミ合同講演会
- P4～5 本科ゼミ課外活動の紹介
- P6～7 専攻科生の声・サポートセンター・公開講演会ほか
- P8 クリスマスパティー・同窓会・新設の施設紹介ほか

立教セカンドステージ大学(RSSC)は、立教大学が提供する生涯学習の場です。RSSCは、RIKKYO SECOND STAGE COLLEGEの略称です。



発行：立教大学「立教セカンドステージ大学」
編集責任：上田恵介 編集長：青木美恵
発行日：2016年2月25日
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1



シルバー民主主義と18歳選挙権

立教大学文学部教授 上田 信



周知のように日本では、少子高齢化がすさまじい勢いで進んでいます。そのことを示す数値に、赤ちゃんを含めた日本の総人口のちょうど真ん中は何歳か、というものがあります。2015年の時点で、この「中位年齢」は何歳だと思いますか？

答えは、47歳。

つまりこの年齢より上の世代の人口と、下の世代の人口とがほぼ同数ということになります。ここで多数決を採った場合、50歳以上の世代の意見が有利になるのは眼に見えています。まさに我がRSSCの受講生の世代が、日本の将来を左右できるというわけですね。これが「シルバー民主主義」と呼ばれるものです。

日本の政治の動向を分析すると、中位年齢が上昇するに従って、財政に占める老人福祉費の割合が上昇しているようです（小黒一正「やさしい経済学：人口減少下での政治」『日本経済新聞』（朝刊）2015年11月5日）。小黒氏は「相対的に強い政治力を持つ高齢世代が、……若い世代や選挙権を持たない将来世代に過重な負担を押しつけている可能性は十分にあります」と述べています。

しかし、シルバーだといったから、そのすべてが自分の世代だけを考えて投票するわけではありませんよね。託児所に孫を預けられずに悩んでいる息子や娘、小学校の統廃合でバス通学を余儀なくされる孫の世代のことを考えて、投票する方も少なくないと思います。そんな折、来年から国政投票権が18歳に引き下げられます。キャンパス内ですれ違う学生の全員が、皆さんとともに投票場に赴けるようになったのです。大学のなかで、世代の枠を越えて、日本の将来像をどのようにすべきなのか、議論するには絶好の機会となったのではないのでしょうか。

2016年秋学期、全カリのコラボレーション科目にRSSCが提案して「持続可能な地域社会を考える」というタイトルの科目が開講される予定です。少子高齢化は地方では深刻な事態となっています。人口動態の分析に基づいて、地方自治体ごとに子どもを産み育てる女性の人口を推計したところ、多くの自治体で人口が半減し、消滅せざるを得ないところが少なくないことが明らかとなっています。みなさんが生まれ育った郷里は、どうでしょうか？学部学生も履修するこの科目では、世代間の意見を交わしながら、存亡の危機に直面した地方自治体の現状を確認したうえで、どのようにすればいいのか、ともに考えていきたいと思っています。

（立教セカンドステージ大学運営委員）



2015年度清里

2015年度のRSSC本科合同ゼミ合宿が9月5～6日に清里清泉寮で行われ、本科生63名・教員5名・武藤チャブレンが参加しました。例年より1日短い日程でしたが、それぞれにかけがえのない思い出を残しました。

○9月5日	○9月6日
12:15 清泉寮集合 (昼食・チェックイン)	6:30 バードウォッチング (希望者)
13:30 聖アンデレ教会見学 (自由時間・夕食)	〈朝食〉 9:00 周辺散策
18:30 キャンプファイヤー フォークダンス	12:15 オブショナルツアー
19:30 懇親会～就寝	15:00 清里駅解散

1日目は清泉寮に現地集合。昼食後に聖アンデレ教会を見学。夕食後は恒例のキャンプファイヤーとフォークダンスで盛り上がりました。その後本館食堂で懇親会、新館黙想室へ場所を移して二次会と、時が過ぎるのを忘れて楽しみました。2日目は早朝のバードウォッチングに始まり、朝食後に二班に分かれて周辺を散策し、昼食後には四班に分かれてオブショナルツアーを行いました。生憎の悪天候でしたが、最後は無事清里駅に合流し、現地解散となりました。

清泉寮と立教大学

『清泉寮』の命名が、当時立教大学のチャペル付き司祭であった高松司教によるもので、その英訳が『ピュア・スプリング』（清らかな泉が湧き出る所）であると知り、8期生の胸の中に、何か誇らしげな気持ちが生まれました。

オブショナルツアー

合宿のハイライトであるオブショナルツアー。

- ① 清泉寮周辺散策コース（富士山とせせらぎの径・ウッドチップの遊歩道）
- ② 清泉寮周辺散策コース（カラムツ林の径・野外礼拝堂・野鳥と小動物に出会える）
- ③ 萌木の村散策コース（清里駅周辺の開拓村・オルゴール博物館・ともにこの森・滝見の丘・開拓の鐘）
- ④ 吐龍の滝散策コース（川俣溪谷経由の吐龍の滝を目指す最難関コース）

雨も激しくなり決行が危ぶまれたコースの中で、真っ先に決行を決めたのは吐龍の滝散策コースでした。総勢14名がぬかるんだ山道で声を掛け合い、途中の沢を渡る時には手を取り合いながら、一人の落伍者もなく吐龍の滝に到着。“身体は冷えたが、気持ちは大変暖かだった”との声を聞きました。

清里の自然は東に秩父連山、南に霊峰富士、西に南アルプス、北に八ヶ岳

「感謝、感謝、感謝」

8期生 ゼミ長委員会委員長 岩瀬嘉郎

5月からゼミ長委員会のメンバーとして、清里合宿の準備に携わりました。初めての1泊2日のプログラムをどう充実した内容にするかなど、テーマは盛り沢山でしたが、関係者の皆さんのチームワークで乗り切ることができました。ご支援いただいた先生方、事務局の皆さん、清泉寮のスタッフの方々、そして知恵とスキルを惜しげもなくご提供いただいたゼミ長の皆さん、本当にありがとうございました。参加したお一人お一人が、果たして本当に満足されたか不安もありますが、2日間にわたりご協力いただいた寛容さにも感謝です。重箱の隅をつつけば至らぬことも山ほどありますが、皆さん無事に家路に着かれたことに免じてご容赦くださいませ。私自身は、前泊の深夜、満天の星、雄大な天の川を仰ぎ見て泣きそうになりました。世俗まみれの半生ですが、感動することを思い出させてくれた清里の自然にも感謝です。



早朝のバードウォッチング
なかなか鳥の姿が見えません、休みかな？



雨の中全員無事到着、滝の前で記念撮影

本科合同ゼミ合宿



清里キャンプファイヤーと懇親会



火の神(上田恵介先生)登場



本館食堂での懇親会、初めて隣り合わせになった人との話や美味しいお酒に大満足し、その後は新館黙想館の二次会へ。

『親睦の輪広がるキャンプファイヤー』

8期生 ゼミ長委員会委員 望月宏計

立教RSSC清里合同ゼミ合宿では、毎年キャンプファイヤーを行っています。ゼミ長会での合宿準備会議の席上で、どんな風に行くか、進行は誰が行うかと頭を痛めました。キャンプファイヤーを経験したのは数十年前の方々ばかりだからです。遠い昔を思い出しながら、そして年齢を考えながら行くしかないということになり、計画していきました。当日は幸い雨も降らず、予定通り実施できました。上田恵介先生の『火の神』の入場から、薪の山への着火。「鈴懸けの径」やキャンプファイヤーの歌を皆で歌い、会場の雰囲気徐徐に高揚させ、「燃えろよ、燃えろ」の大合唱で、炎も大きく燃え盛ると期待したのですが、火が今にも消えそうになり、慌てて灯油を注して火の勢いを蘇らせたという一幕もありました。

キャンプファイヤーといえば、フォークダンスです。「マイムマイム」「ジェンカ」と、皆で若い頃に帰って踊りました。足場の窪みに足をとられ、よろめきながらの踊りもありましたが、一人ひとりの笑顔が炎の明かりに輝き、思い出に残るひとときでした。その後のゲームでは、「ジャンケン列車」「ジャンケン進化ゲーム」を行い、和気あいあいの内に終了することができました。

ゼミ合同講演会

今秋、本科必修「基礎」の授業で、冬季パラリンピックで日本人初のゴールドメダリストとなったパラリンピアン大日方邦子氏が『パラリンピックがくれたもの』と題し、〈失ったものは数えるな、残されたものを最大限生かせ〉というパラリンピックの精神について特別講演を行いました。本科生に加え、専攻科生、学部生も聴講に参加し、約150名が氏の話に聞き入りました。

また、この講演をサポートした「オリンピック・パラリンピック・レガシー研究会」代表の矢野泰秀氏から以下のメッセージが寄せられました。

『大日方氏は、3歳の時に遭遇した交通事故で両足にしょうがいを負われましたが、高校2年の時にチェアスキーを始め、その後1994年のリレハンメルから、続く長野、ソルトレイクシティ、トリノ、バンクーバーと5つの冬季パラリンピック大会に連続して出場し、長野での滑降（座位）、トリノでの大回転（座位）の金2個を含む、計10個のメダルを獲得されました。私たち本科生・



専攻科生は、1964年開催の東京オリンピックを実際に見聞した世代です。2020年の次回東京大会に向けて、我々が受けたあの感激・感動を後世に伝

え、その目的である〈自ら学び、行動できる次の世代を育成しよう〉という動きに参画し、それを将来の世代のレガシーとして残していく意義は大きいといえます。「オリンピック・パラリンピック・レガシー研究会」は、今回の特別講演をサポートすることで、しょうがいがあるなしという垣根を超えて助け合うという意義を再確認することができました』と結んでいました。

本科ゼミ 課外活動

学びの場は教室の中だけにはとどまりません。

♪やるときゃ、やる！！♪

上田(恵)ゼミ

「上田(恵)ゼミってお酒を飲んで、おしゃべりしているゼミでしょ」、「いえ、やる時はやります」。「遊びゼミ」との風評被害にめげず11月初め、新座校舎で修了論文発表のゼミ合宿を開催しました。早めの論文提出で先生に安らかな年末年始休暇をプレゼントするため、執筆が遅れ気味な人も徹夜で準備しました。「こんなに頑張ったのは〇〇年ぶりです」「頑張ればできるね」正にRSSCのDNAである「学び直し」と「再チャレンジ」を実践しているゼミです。春学期は校内探索やアフターゼミ懇親会、ゼミ旅行と、学生生活を満喫していたシニア学生・女子大生も、論文のテーマ検討会では「修了論文は机上の学問ではない。汗をかいて現場をそして自分を見つめ、自ら学んでまとめよう」と確認し合いました。いつの間



にか秋学期を迎え、浮足立った私たちも、上田(恵)白熱教室で激論交わしながら成長し、修論に目途をつけ、すでに次の卒業ゼミ旅行計画にいそしんでいます。

♪鎌倉散策♪

小沢ゼミ

我々小沢ゼミでは、10月21日秋の鎌倉を散策しました。天気は快晴、平日だったので、おそらく我々と同じ定年組ばかりと思いきや、小学生・外国人で鎌倉駅はごった返していました。さすがに年間2千万人以上の観光客が訪れる人気スポットです。

ランチまですこし時間があつたので鶴岡八幡宮までブラブラ。ちょうど舞殿ではめずらしいことに国際神前結婚式が行われていました。式の新郎は外国人でした。雅楽の調べが流れ、思わず女性陣からため息が漏れるのが聞こえました。

ランチは大鳥居横の日本料理のお店。食後は、いざ銭洗い弁天へテクテク。その後、江ノ電で長谷に移動し、大仏様の前で記念撮影。長谷寺の前で先生がリュック姿



のイケ面外人に何やら話しかけるので、いっしょに参加。彼氏がアルゼンチンから来たとのことが判明。最後の祝宴は横浜中華街。美味しい中華料理をたらふく食べて、お開きとなりました。秋の一日、好天に恵まれ、歩いた距離は1万8千歩。楽しい一日でした。

♪美術展を通して現役学生との交流♪

野田ゼミ

野田ゼミでは紅葉が街に彩を添える11月の初旬、渋谷の東急文化村ミュージアムで開催されている「風景画の誕生」を鑑賞しました。野田研一先生の担当ゼミの受講生全員と大学院生等5名が参加。現役学生が参加して、集団に彩を添えた。入口前で記念撮影、後、館内は自由に鑑賞、1時間後に同館8Fにあるイタリアレストランで昼食を摂った。レストランは上品な雰囲気、料理、飲み物も美味しく、自己紹介、野田先生の風景画の概要説明があり、作品に対する理解が深まった。後、各自が鑑賞した感想を述べた後、現役学生の粋な計らいで当日が、野田先生の誕生日であることを知り誕生祝いを行った。歌、学生からのプレゼント、野田先生の感想と明るく楽しい雰囲気に包まれた。RSSCにとって、現役学生と



の交流は課題の一つです。今回の課外活動は、美術展鑑賞、昼食会と共通の話題、昼食をしながらの会話は弾み、課題を解決するヒントになるのではと思いました。

♪なんて素敵な想定外♪

鈴木ゼミ

春夏秋冬を過ごし、わが鈴木ゼミのメンバーシップは着実に育ち実をつけました。それぞれ自立したおっとり型、たまに変人?の集団は思いやり合いながら修了論文の意見交換最盛期です。夏はホテル納涼会、秋には文楽鑑賞会、晩秋近い墨田川屋形船で大いに盛り上がりました。そして冬はホックリ和食で一献です。鈴木先生はいつもニコニコ上着の裾を掴まれて、逃げる間もなく嬉しそうです。全員が無事に修了論文合格を願って、総勢で卒業旅行の台湾に出かけます。初めての海外でパスポート取得に大忙し、又ゼミ長は取り纏めに一苦勞となりました。



人生の最盛期の思いは足元に置いて、さんざめく現役大学生の間に席を取り、今日も教室移動で足腰鍛えの真っ最中です。

♪歌舞伎観劇会とセカンドウォーキング♪ 月本ゼミ

月本ゼミでは、8月中旬、2013年に新開場した歌舞伎座へ行き、八月納涼歌舞伎「ひらがな盛衰記」と「京人形」を観劇しました。副ゼミ長は着物姿で参加し注目をあびました。休憩時間には、月本ゼミ特製千社札を作成、大好きな先生に敬意を表しました。観劇後の反省会を、歌舞伎座近くの山形の蕎麦屋にて開催。月本先生のご指導で講読し皆で意見交換をした「上杉鷹山」(『代表的日本人』内村鑑三著)を思い出し、観劇の感想、近況報告とあっという間に時間が過ぎていきました。

10月の散策日和にはセカンドウォーキングと題し、富岡八幡宮、深川不動堂をまわり、近為(京料理)でランチ、清澄庭園まで歩きました。庭園散策に魅了され、12月初旬六義園にて紅葉のライトアップを見学。ゼミ女子会では、北鎌倉から明月院、源氏山経由葛原岡神社、銭洗弁天と巡りました。

本科ゼミ終了後も更に豊かなセカンドステージ実現のために、ここで出会った素晴らしい仲間との課外活動は生涯続きます。



♪上野の森の知的散策♪ 上田(信)ゼミ

日頃、ゼミ室で修了論文に向けての意見交換を熱心に行っている上田信ゼミの面々。たまには教室を離れた知的な活動(十α)もやろうや!ということで、10月下旬に秋色漂う上野公園の国立西洋美術館を総勢12名で訪れました。

国立西洋美術館は、印象派など19~20世紀前半の絵画・彫刻を中心とする松方コレクションを、フランスから日本に返還される際の条件として建設されることになった戦後の歴史的な美術館です。

モネの「睡蓮」をはじめ、ルノワール、ミレー、ゴーギャン、ロダン等の松方コレクションの名画や彫刻、さらにはオールド・マスターといわれる西洋古典絵画の前に、こんな身近にこんな名品が……と期待以上の芸術との出会いに驚嘆しきりでした。

知的活動のあとはお腹もすくもの。近くの「西郷さん」に縁のある?レストランで感動を熱く語り合ったことは言うまでもありません。



♪エリザベス・サンダース・ホーム澤田美喜記念館の見学♪ 成田ゼミ

晩秋の青空のなか、真白い富士山を車窓に見て大磯駅に着いた。成田ゼミの課外活動は、エリザベス・サンダース・ホーム澤田美喜記念館の見学です。戦後「混血孤児」救済のため設立したホームの記録と隠れキリシタンの資料館。ホーム設立には立教とも関りの深い聖公会やポール・ラッシュ氏のサポートがあったそうで、RSSCの我々には大変親切に案内をしていただいた。

その後、地元の成田先生の案内で美味しい“地の魚”の昼食をご馳走になり、旧島崎藤村邸、「湘南の由来」鳴立庵、新島謙終の地そして大磯の海岸を散策して課外活動を堪能しました。

成田ゼミは、50~80歳の多士済々のメンバーが意見をぶつけ合いながらも妙に仲が良い集まりです。今は丁度、修了論文作成の山場にあり、昨日も先生から論文指導の愛のムチがありました。もう一息です。一人一人の頑張りと仲間の励ましできっと良い論文が完成するでしょう。忙中閑あり、楽しい充実した一日でした。



♪学びと笑顔^{ワン ツー スリー} 1・2・3♪ 栗田ゼミ

1. 8月11日(火) 南青山に集い、夏の風物詩「神宮外苑花火大会」を観賞しました。夜空に打ち上がる色鮮やかな花火を見る皆の笑顔が花火の色に染まりました。

2. 10月16日(金) 大正10年、羽仁吉一・もと子夫妻により創立された、重要文化財「自由学園 明日館」(西池袋2丁目)を見学しました。自由学園の歴史や主な教育実践について学びました。当時を偲ばせる木造教室の落ち着いた雰囲気が印象的でした。

3. 10月24日(土)「山梨県笛吹川フルーツ公園 くだもの館」(山梨市)を見学しました。この館の展示企画に直接携わった本ゼミのゼミ員から、展示内容の説明を聞きながら見学し、ワイン造りの方法や歴史について学びました。また、「勝沼ぶどう郷 ぶどうの丘」では、ワインの試飲をして、皆の笑顔がロゼ色になりました。ぶどう郷の山並に沈む夕日と空のあかね雲に「楽しい一日をありがとう」と言って家路につきました。



専攻科生の声

専攻科は本科の延長なのか？



専攻科：東 与四朗

本科を振り返って、恵まれた教育環境の中、違ったキャリアの仲間から刺激を受け、あっという間の1年でした。入学の動機であるセカンドステージへの準備は、居心地の良さに甘えて頓挫してしまい、学びは、恵まれた教育環境でもう少し学びを楽しみたいとの欲が出て、専攻科に進むことにしました。まだ元気で大事な時期なので、この1年を無駄にはできないとおもいました。専攻科と本科を比べ違ふと感じるところは、本科は至れり尽くせりのルールが敷かれている感じですが、専攻科は大学に慣れた分、ゼミ活動も含め各自の姿勢が問われるところです。選択科目を本科で取ってしまった場合、RSSCには豊富な全カリ科目の選択肢があります。学びの意欲は先生にも伝わるので興味ある授業に積極的に挑戦することをお勧めします。専攻科を本科の延長と考えると物足りなくなるかもしれません。本科の経験、繋がりを生かしてこそ、実りある1年になるでしょう。

チャレンジと勇気で！



専攻科：岩田 良江

ハラハラ・ドキドキ、本科の春学期、しばらく空っぽの頭に刺激を与えねばと、少々のお洒落をして通学。知らない事は新鮮に、少し知っている事はより深く、学ぶ楽しさを再確認。秋学期、サークルに入り多くの友達が出来、専門分野の講演や研修と、行動範囲が広がり、思っていた以上に学びに欲がある自分に驚いた。この勢いで、頭を抱えていた修論も、心配ご無用、期日に提出することができた。これは、セカンドでの学びの中で、自分の力量を知ると同時に達成感を味わえた。さらに、もう一步、専攻科へ進級。高齢に残っているのは、体力よりもNO～力、チャレンジと勇気をもって現役生と共に学び、気持ちの若返りができた。専攻科は既に多数の人と顔なじみで、コミュニケーションは授業の後にも盛んになる。色々な情報交換の場で、ほど酔い時間でもある。本科より好きな授業数を増やしたが、ゆとりをもって受講できるのは、やはり、2年目であることの自信だと思う。

社会貢献活動サポートセンターの紹介

在校生や修了生の社会との関わり合いや社会貢献活動を支援するため、RSSCではサポートセンターを設置しています。現在10のグループが活動している中から、今回は2グループを紹介します。

「かがやきライフ研究会」

私達「かがやきライフ研究会」はニューズレター・セカンドステージの第1号・第2号に携わった人の有志が集まって発足した会です。現在は1期生5名、3期生1名、5期生1名、7期生1名、8期生2名の計10名で運営しています。セカンドステージ大学での学びを基に、自らの体験、知識、社会貢献活動の事例などの情報を発信する事を目的としており、毎年1冊ずつ「すずかけの小径（みち）」と言う小冊子を発行しています。2010年1月に創刊号を発行しましたが、2015年11月に第7号を発行するに至りました。編集会議は原則として月1回行っていますが、和気あいあい・論壇風発（？）の雰囲気です。今後も可能な限り冊子発行を続けて行きます。



「日本に住む外国人を考える会」

① 活動の目的

現在日本に住む外国人は200万人、加えて在日の人々35万人が生活しています。こうした人々を理解し、共に生きる



ことが住みよい地域社会をつくること、との思いで活動を開始しました。外国人を理解するには、政治や宗教、国家をはなれ、市民レベルでの交流と自らの頭で考え行動することが大切と私たちは考えております。

② 活動内容

毎月1回の定例会は、テーマを決めての話し合いと書籍紹介や催しごとの情報交換。それと外部活動で最近では韓国詩人金一男先生を講師に講演会、DVD『李藝・最初の通信使』、映画『なにを怖れる』鑑賞、ネパールインターナショナルスクール見学、長野松代大本営地下壕見学等を実施いたしました。

メンバーは2・5・6・8期の男性3名、女性6名計9名で楽しく活動しております。

8 期生クラブ活動紹介

○ 8 期生クラブ活動の発足について

8 期生 小池久雄

春学期授業の開始後2か月経過した6月に、我々8期生の自主的なクラブ活動の発足をゼミ長委員会に呼びかけた。その経緯は、所属ゼミのメンバーとは仲良くなりつつあったが、なかなか8期生全体の交流は進まない。そこで、RSSCの認定同好会ではないが、自主的な8



「八起会(8期ゴルフ愛好会)」

期生クラブ活動をゼミ長委員会に申請してもらうこととした。10月現在5団体の届け出がある。ゴルフ会、美術名画鑑賞、ボランティア英



会話などだ。ゼミ内活動を前提としているものもあるが、ゼミメンバーの親交はより深まるであろう。

クラブ活動の目的は、「クラブ活動を通

じてコミュニケーションを促進しお互いに交流を深め合い、永くお付き合いのできる友人をつくる」こととした。本科修了時においても活発な活動が継続していれば、「RSSC同窓会同好会」として登録するもよし、その人間関係を基礎に「RSSC社会貢献活動サポートセンター」活動に発展するもよしである。我々のセカンドステージライフをより豊かに、楽しく、充実したものにするために8期生クラブ活動が育っていくことを期待している。

R S S C 主催

公開講演会

立教セカンドステージ大学主催の『公開講演会』が今年も池袋キャンパスで4回開催されました。人気講師によるタイムリーなテーマの講演会には、学内だけではなく一般の方々も大勢参加され大変盛況でした。

『なぜ人はだまされるのか』

香山リカ氏



立教大・現代心理学部教授で精神科医でもある香山先生の公開講演会は、師走初日の夕方にもかかわらず大教室が満員となりました。

特殊詐欺は、飛行機・羽田を悪用する「上京型」の新手口が増加している。だまされるのは、「まさか私が」の心理の時で、人は緊急で現実離れた状態に直面すると情報処理能力が一気に低下する。「だまされる」のは、「誰もが持つ心理」が悪用される。好意を逆手に取る好意の返報性、簡単なことから勧誘するローボールテクニック、権威や希少性に弱いなど人の弱いところをついてくる。人は自己実現欲求を刺激する話や自己愛に嘯きかける話に飢えているが、そこに危険が潜んでいる。

対策は、「うまい話はない」そして「自分だけが特別選ばれた」という感覚は、ファンタジーか恋愛でおいに味わう」ことである。

講演の最後に「立教大学へどうぞ!」と学校紹介をされた。自由でお洒落でピースフル、真剣な学びの場、鳥の絡まるチャペルも素晴らしい大学です。そして、これは「だまし」ではありませんと、ジョークで締め括られた。

『スポーツ・マスコミとスポーツ記者と取材の現場から』

斎藤文彦氏



12月3日Xmas点灯式の夜、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科を修了され、学生時代のアルバイトも含め週刊プロレス記者歴35周年をお迎えになる斎藤氏の講演会が開催されました。スポーツとマスコミの関連性についてお話をされ、大学内外の多くの方が集まりました。

斎藤氏が実際に現場取材を体験されている各種スポーツの興味深い内容には、「そうだったのか」とおもわず手を叩く感がありました。テレビ番組制作の3つの原理と番組形態では、娯楽・報道・ドラマで構成される三角形の中心にスポーツが位置する事。そしてスポーツが社会の「何か」を映し出している事。更に、メディアが言語的構成体を作る時の3つの対立点の解説から、スポーツ・ジャーナリズムがあるべき姿まで、生き生きとした語り口での講演となりました。

又、スポーツ・メディア論では、メディアのステレオタイプ、ナラティブ等々の講義により、本格的なスポーツ・マスコミを考察する機会ともなりました。

ところで、皆様は「スポーツの180°ルール」ってご存知ですか?初めて聞く言葉でしたが、「いかなるスポーツでも、TV・ネットの映像に至るまで、基本のベースにあるコンディションに因り我々視聴者が見せられている」という事なのです。慧眼!

クリスマス・パーティー



12月17日に立教大学第一食堂にてクリスマス・パーティーが催されました。本科・専攻科生が一堂に会し、クリスマス・ソングを歌い、ダンスやゲームを楽しみました。クリスマス・パーティー委員の稲塚正子委員長より以下のメッセージが寄せられました。

『クリスマス・パー

ティーのコンセプトは「個人個人が楽しむ、大人のためのクリスマス」としました。

パーティー当日は、参加者のみなさんの普段とは違うおしゃれな姿に目を奪われました。今回あらかじめクリスマスにちなんだ格好でとお願いしたのは、パーティーが開催される前から意識を向けて頂くのが良いのではと

の思いからでした。

クリスマス・パーティーを担当された小澤先生のダンディな乾杯の挨拶、月本先生のクリスマス・ツリーのお話と、普段では見られないコラボレーションでした。

パーティー終了後、クリスマス委員の全員が安堵感と共に、達成感を味わうことができました。9月から打ち合わせが始まり、準備不足から当日に慌てて修正するトラブルもありました。しかし、委員での協力体制が整っていたことで大事には至りませんでした。これら、いろいろな事を含めて、成功の実感と歓喜が得られたのは、クリスマス・パーティー委員の役割を果たせた結果かと思えます。

最後に、クリスマス・パーティーが成功したのは、多くの仲間（天使たち）が準備から当日までたくさんの協力や援助を得られたことです。

また、支えてくださった先生方や学校関係者の方々に感謝いたします。』



同窓会紹介

◇サードステージの生き方とは



立教セカンドステージ大学同窓会
会長 中島 正昭（5期生）

RSSCから得られたものは数多くあります。アカデミックな教養はもとより、その最たるものは、今後の人生に於いてかけがいのない仲間を作れたことにあるのでしょう。

この良き仲間と共に多くの同窓生が、同窓会傘下の各

種研究会・同好会・社会支援・ボランティア・期生会などで活躍しているのをご存知ですか。

日々活発な活動が至る所で展開されているのです。RSSC修了と同時にややもすると行き場を失いがちですが、RSSC同窓会こそは、まさにアフターセカンドステージを楽しむ場なのです。すでに活動に参加されている8期生もおりますし、8期生が新たに同好会や研究会を立ち上げることもできるのです。

今期同窓会に於いては、ホームページの抜本的な改正も行いました。それらは修了生・本科生・専攻科生相互の交流促進と情報交換を容易にし、会員700名弱の人的ネットワークを生かした諸活動に繋がると確信しています。

新設の施設紹介

平成27年からRSSCの受講生にも利用が可能になったプールは、50m×6コースの本格的な温水プールです。清潔で機能が充実していて、大変快適で、何より空いているのが最高です。勉強で疲れた頭を癒すためにも、健康増進のためにもお勧めです。



編集後記

少しでも多くの方々にニューズレターを読んでいただけたらという思いで、委員会のスタッフ全員で力を合わせました。原稿をお寄せ下さいました皆さま、事務局の皆様にも改めて感謝いたします。



写真左上から岩永明男・渡邊敏幸・北川昇・石原卓
金児洋子・中田優子・濱野敏子・青木美恵